建　造　物　の　部

玉林院（ぎょくりんいん）　京都市北区

末寺讃州寺（さんしゅうじ）の本堂修理

概　要

鶏足山と号する臨済宗讃州寺は、大徳寺塔頭玉林院の末寺で、北山の麓、鷹峯よりさらに北西奥の谷間に位置します。

玉林院が所有する讃州寺関係の文書によると、文明年間には現上京区西洞院通一条下る讃州寺町にあったことが記されており、その場所には現在でも町名に本寺の名をとどめています。境内には現在、本堂と仏殿のみが残っていますが、享保の頃は、経堂、鐘楼、庫裏、山道には仁王門もあったことが玉林院に残る文書に記録されています。

今回修理を行った本堂は方丈形式の空間に、生活空間である庫裏の機能を一体化した本堂建築ですが、長年無住であったため、屋根及び各部材には経年劣化が目立ってきており、屋根及び軒廻りを中心に修理を行い、あわせて建具等の補修及び外壁面の塗替え等も行いました。

讃州寺の本堂

知恩院（ちおんいん）　京都市東山区

土塀修理

概　要

江戸時代、徳川将軍家の菩提所でもあった知恩院では、徳川将軍の位牌を祀る大方丈・小方丈と一般が参詣できる本堂（御影堂）とを区切るため築地塀をめぐらしていました。今回修理を行う土塀は、京都所司代、町奉行、近郷の武家衆が将軍家の位牌を祀る大方丈へ参詣する際に出入口として使われた武家門に付随する土塀です。

寛永12年（1635）建立の集会堂及び集会堂玄関と同様にこの武家門、築地塀も同時期に建築されたものと考えられています。

柱間漆喰壁には五筋の目地を切った本格的な築地塀で、塀端部の切妻側での規模は、地面から笠木天端までの高さは386cmを測るものです。

経年による、表面の剥落が随所にみられ、現状のままでは、毀損はさらに拡大する可能性があることから左官を主とする修理を行うこととされました。

知恩院の土塀　下地の状況

美術工芸品の部

大聖寺（だいしょうじ）　京都市上京区

紙本金地着色「瑞鳥瑞花図」障壁画３面修理

概　要

大聖寺は、臨済宗の単立寺院で岳松山と号します。当寺の開基は足利義満が光厳天皇の妃で、天皇崩御後出家した無相定円禅尼の安禅所として室町御所内に設けた岡松殿がその前身と伝えます。正親町天皇皇女が入寺されたときには、天皇が当寺を尼寺第一位とする綸旨を下され、以降、光格天皇皇女まで歴代内親王が入寺されています。

現本堂は、昭和18(1943)年に東京の青山御所から移築された建物であり、それに伴い本障壁画も移されたと考えられています。今回修理を行った紙本金地着色「瑞鳥瑞花図」は、大聖寺本堂「貴人の間」の床中央・左右の壁面に描かれた障壁画で18世紀頃の作と考えられています。経年劣化により、本紙料紙、裏打ち紙が硬化し、しなやかさが失われ強度が著しく低下し、本紙の破れや欠失等の深刻な損傷が拡大する要因となるため修復されました。

大聖寺の紙本金地着色「瑞鳥瑞花図」

雲龍院（うんりゅういん）　京都市東山区

木造不動明王半跏像修理

概　要

　雲龍院は、泉涌寺山内にあって別格本山の寺格を有する別院です。応安５年(1372)後光厳天皇の勅願により真言宗の僧竹厳聖皐（ちくがんしょうこう）を開基として創建され、後円融天皇、後小松天皇の帰依をうけ天皇家の菩提所ともなりました。

　応永 12 年(1405)諸堂を焼失しますが、永享元年(1429)頃には再建されます。しかし応仁の兵火により泉涌寺一山は焦土と化し、雲龍院も再び罹災しています。

　今回修理を行った木造不動明王半跏像は、正保３年(1646)頃までに建立された現在の本堂である龍華殿に安置されています。制多迦童子（せいたかどうじ）、矜羯羅童子（こんがらどうじ）の脇侍を従えた三尊仏の中尊で、総高は 93.7cm を測ります。像全体に材の矧ぎ目の緩みや、木質の劣化 彩色の剥落がみられ、虫蝕による損傷個所などもみられることから修理を行うこととされました。

雲龍院の木造不動明王半跏像

行住院（ぎょうじゅういん）　京都市南区

木造阿弥陀如来坐像修理

概　要

　行住院は、天正年間に開かれた浄土宗の寺院で、当初は「普願庵」と称しましたが寛永年間に知恩院宮良純法親王から「行住院」の扁額を賜りこの名となったと伝えます。

　今回修理を行った木造阿弥陀如来坐像は、天冠台の上に宝冠をあらわす宝冠阿弥陀像のうちの菩薩形に属します。両胸部の肉付けが強調されず、頭部側面の奥行を減じる点や、臂釧（ひせん）・腕釧の彫りが簡素であるなどの特徴がみられますが、上半身を反り身にし、両脚頭を盛り上る姿、太い耳輪の耳などは極めて古様な表現をみせており、10 世紀の後半から 11 世紀の作とみられています。

　各所に白カビや虫害、割れが生じている他、鼠害により木地が露出している個所がみられること等から修理を行うこととされました。

行住院の木造阿弥陀如来坐像